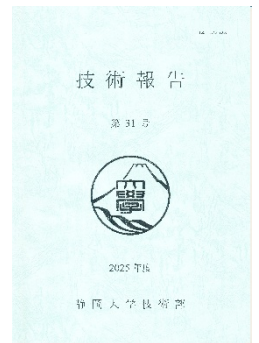


## 第31回 静岡大学技術報告会の開催

第31回技術報告会は浜松キャンパス佐鳴会議室で、昨年と同じ12月24日の開催となりました。会う人、会う人から“クリスマスイブに開催かよ”と、ゆるいつっこみを受けながら、“年末だと日程の選択肢は限られるんだよ”と説明していました。それでも最終的に学内外合わせて15件の発表登録、55名の参加登録がありました。学外からは、分子科学研究所、名古屋工業大学、三重大学からご参加頂き、3件の発表がありました。発表者の皆様、参加された皆様に感謝申し上げます。



写真解説：  
技術報告集第31号

例年通り、学長と理事(技術部長)にも参加をお願いして、スケジュールも抑えていましたが、12月に入ってから学長が急な外部案件のため出席できなくなったと連絡がありました。残念でしたが、学長代理で二又理事にご参加頂けることになり、技術部長の金原理事とともに開会式でのお言葉を頂戴しました。我々を奮い立たせてくれるような素敵なメッセージでした。お二方とも理事に就く前は工学部教員でもあったので、技術報告会を楽しみにしてくれている様子が開催日前から伝わっていました。当日は午後から静岡で会議があるにも関わらず移動時間ギリギリの12時まで5件の発表を聴講されました。発表後の質疑応答では理事本人からも質疑やコメントを頂き、休憩時には発表者に直接話しかけられている姿もありました。異例なシーンに驚きましたが、技術部に関心を持って頂いていることが伝わり、感謝の気持ちでいっぱいとなりました。また、工学部の教員が一人、飛び込みで聴講に参加されたこともサプライズでした。



写真解説：開会式での理事のあいさつ

報告会は17時頃までの長丁場となりましたが、無事に終わることができ、発表後の質疑も多く挙がり、良い技術報告会だったと思います。情報交換会は浜松駅周辺のお店で行い、22名の方が参加され、各テーブル盛り上がっていて良いクリスマスイブとなりました。

個人的に技術報告会は、とても大切な機会と捉えています。勤務場所が4カ所に渡る静岡大学技術部としては、年に一回は顔を合わせ交流し、発表を通してお互いがどんな業務をしているか知ることは有意義なことではないでしょうか。最終的には今年の技術部内の参加率は80%程度で、止むを得ない事情があったのかもしれませんが20%程度の方が他の業務等を優先されたことは、もっとこの技術報告会の価値を高めなくてはならないのでしょうか。



写真解説：技術報告会での発表の様子

最後に、年度初めから準備に携わり、当日の運営では主体的に動いてくれた企画委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

(執筆：第31回技術報告会実行委員長 草薙弘樹)